

## 2018 年度大手前栄養製菓学院専門学校自己評価表

### 1. 教育目標（使命）

大手前学園の建学の精神として「STUDY FOR LIFE（生涯にわたる、人生のための学び）」を掲げ、栄養学・製菓学を追求し、資格取得の充実を目指します。また、学生一人一人を大切に育み、高度な専門知識・技術ばかりでなく、他人の気持ちがわかる優しい心の持ち主となるよう人格教育にも力を入れ、真に世の中に貢献できる人材の育成に努めます。

### 2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

#### (1) 定員確保に向けた取り組み

- ・栄養学科：学生募集体制の強化
- ・製菓学科：募集強化

#### (2) キャンパス整備・大学生対応

- ・改築工事に伴う安全管理の徹底と仮設備のスムーズな運営

#### (3) 就職支援強化：就職率 98%以上、対卒業生就職決定率 80%以上

#### (4) 退学者の削減、資格取得強化

- ・退学率：年度退学率 5%未満
- ・管理栄養士資格：新卒合格率向上
- ・栄養士実力認定試験：上位入賞、C 評価ゼロ

### 3. 評価項目の達成及び取組状況

#### (1) . 教育理念・目標 (評価) 適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

評 価 項 目	評 価
・ 学校の理念・目的・育成人材像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	4
・ 学校における職業教育の特色は何か	4
・ 社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4
・ 学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	4
・ 各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに 向け て方向づけられているか	3

#### ① 課題

- ・ 業界ニーズの把握ができていない。(製菓学科)

#### ② 今後の改善方策

- ・ キャリアサポート室の情報分析などを有効活用する。

#### ② 特記事項

- ・ 特になし。

## (2) . 学校運営

(評価) 適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

評価項目	評価
・ 目的等に沿った運営方針が策定されているか	4
・ 運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4
・ 運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4
・ 人事、給与に関する規程等は整備されているか	4
・ 教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4
・ 業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4
・ 教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	4
・ 情報システム化等による業務の効率化が図られているか	3

## ① 課題

- ・ el-campus を導入しているが、授業連絡などは掲示板 (el-campus と紙を併用) を使用しており効率化が今一步である。
- ・ 学生の電子機器保有状況の把握が不十分である。

## ② 今後の改善方策

- ・ el-campus の閲覧 (訪問) を徹底する。学生に対する指導・強化していく。  
(掲示板は補助的に使用)
- ・ 新入生には、基礎演習の時に、電子機器を持っているか確認する。

## ③ 特記事項

- ・ 特になし。

## (3) . 教育活動

(評価) 適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

評価項目	評価
・ 教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4
・ 教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4
・ 学科等にカリキュラムは体系的に編成されているか	4
・ キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫、開発などが実施されているか	3
・ 関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4
・ 関連分野における実践的な職業教育 (産学連携によるインターンシップ、実技・実習等) が体系的に位置づけられているか	3
・ 授業評価の実施・評価体制はあるか	4
・ 職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4
・ 成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4
・ 資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	3

・ 人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4
・ 関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保するなどマネジメントが行われているか	4
・ 関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	4
・ 職員の能力開発のための研修等が行われているか	4

## ① 課題

- ・ 授業評価についてペーパー方式になっており、授業内で実施している。
- ・ 校外実習 5 日間で大手前の特色を出せているのか。通常 5 日間＋インターンシップとしての実習の必要性の再検討をする。
- ・ 校外実習において、実習内容が各施設によって違うので、指導内容が均等になっていない。
- ・ 資格取得について、NR 資格の受講者が減ってきている。

## ② 今後の改善方策

- ・ 授業評価については、2020 年度以降 WEB 化の導入を検討する。
- ・ 大規模施設の実習受入れ施設の開拓を行う。
- ・ 全員を対象にした制度が社会の仕組みや職業意識を向上させ個々にあった職業を選択できるようにする。
- ・ 資格取得（NR）のカリキュラムが 2 年後期となっているが、1 年後期に開講する方向で検討する。

## ③ 特記事項

各教員の技術向上と業界人とのコミュニケーションを語るために学会や教会、研究会などの運営組織に属させ資質向上を継続してすすめる。

## (4) . 教育成果

(評価) 適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

評価項目	評価
・ 就職率の向上が図られているか	4
・ 資格取得率の向上が図られているか	3
・ 退学率の低減が図られているか	2
・ 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3
・ 卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか。	3

## ① 課題

- ・ 2018 年度、特に栄養学科 1 年生の退学者数が悪化している。
- ・ 卒業生の在職状況の把握が不十分である。
- ・ 卒業後に関して一部の学生のみ活躍や身近なコンテスト等の状況だけで知り得ることや専門分野の教員不足のため全体を把握できない。(製菓学科)

- ・就職率 90%をクリアしているが向上を目指す。

② 今後の改善方策

- ・オープンキャンパスで栄養士を目指すうえでの心構え、学修の流れなどを具体的に伝えるようにし、取り組む意欲の必要性を説明する。(ミスマッチをなくす)
- ・卒業生対策講座の案内に、就職調査を入れたい。また同窓会で就職の状況を提供してもらえるよう工夫をする。
- ・ネットワークを活用し卒業生の活躍や状況を把握してまた在校生への就職効果をより強く反映させていきたい。

③特記事項

- ・特になし。

(5) . 学生支援

(評価) 適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

評価項目	評価
・進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4
・学生相談に関する体制は整備されているか	4
・学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4
・学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4
・課外活動に対する支援体制は整備されているか	3
・学生の生活環境への支援は行われているか	4
・保護者と適切に連携しているか	4
・卒業生への支援体制はあるか	4
・社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4
・高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4

① 課題

- ・文化系クラブは活動しているものの、活動場所の関係で体育系のクラブがない。

②今後の改善方策

- ・運動スペースについては、本部と連携し検討していく。

③特記事項

- ・特になし。

## (6) . 教育環境

(評価) 適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

評価項目	評価
・ 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	3
・ 学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	3
・ 防災に対する体制は整備されているか	4

## ① 課題

- ・ 2018年度は、C棟建設工事に伴い、仮施設を利用する一方、中庭が利用制限されている。また体育設備がフィットネスルームのみでの対応なので、体育・運動施設が不足している。
- ・ 実習施設の老朽化に伴う整備が必要。
- ・ 希望者インターンシップ制度の充実。業界外部関係者による意見を取り入れることにより職業教育の現状と実情を計っていかなければならない。

## ②今後の改善方策

- ・ C棟建設工事は、2019年1月に終了し、2019年度から新しい講義室、実験室、図書室の運用が開始される。
- ・ 計画的に調理・実習器具の入れ替え等を検討する。
- ・ 既設建物内の施設見直しを法人本部とともに行う。
- ・ 臨地実習研究会を活用し実習内容の均等化を図る。

## ③特記事項

防災対策として「危機管理マニュアル」に基づいて消防設備の点検と消防・避難訓練を実施している。

## (7) . 学生の受入れ募集

(評価) 適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

評価項目	評価
・ 学生募集活動は、適正に行われているか	3
・ 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4
・ 学納金は妥当なものとなっているか	4

## ① 課題

- ・ 栄養学科から大学に編入できる情報がHPなどでは、あまりアピールできていないのでないか。
- ・ 社会人の獲得を増やす工夫が必要ではないか。

## ② 今後の改善方策

- ・ 保護者・高校教員の方のページに編入情報が少ないので、編入者インタビュー等を掲載していき、また社会人入学者の声なども入れて、学校のホームページをより充実させ、アピールする。

## ③特記事項

- ・ 特になし。

## (8) . 財務 (評価) 適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

評価項目	評価
・ 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4
・ 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4
・ 財務について会計監査が適正に行われているか	4
・ 財務情報公開の体制整備はできているか	4

## ①課題

- ・ 特になし。

## ②今後の改善方策

- ・ 特になし。

## ③特記事項

監査は、監査室が実施する内部監査、独立監査法人による会計監査が行われている。  
会計監査は4半期ごとに実施される。

## (9) . 法令等の遵守 (評価) 適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

評価項目	評価
・ 法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4
・ 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4
・ 自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	4
・ 自己評価結果を公開しているか	4

## ① 課題

- ・ 特になし。

## ② 今後の改善方策

- ・ 特になし。

## ③ 特記事項

- ・ 特になし。

#### 4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

2018年度は、キャンパス内工事が継続しており、仮施設を使用したり、イベントをダウンサイズしながらも、教育の質を落とさないことを第一に取り組んできました。

しかしながら、今年度の重点取り組みにおいて目標から乖離する項目がありました。

まず「退学率の削減」という目標について、特に栄養学科1年の退学者が増加しました。担任によるきめ細かな指導や先輩による学習相談会の開催など、学修取り組みに対するサポートを行いました。残念ながら、「学校生活になじめない」、「進路を変更する」、といった理由での退学が相次ぎました。次年度以降、担任教員を増やすなど、きめ細かなサポートを継続すると同時に、学生募集においても、栄養士を目指す意欲を再確認するなど、ミスマッチを解消していきます。

また学生募集において、「定員確保」といった目標に対し、製菓学科は大きく定員割れとなり、次年度の学生募集を停止し、2020年3月末に学科廃止をすることになりました。栄養学科は、わずかですが定員未充足となり、少子化あるいは栄養分野人気の低下といった要因もありますが、昨年度から第1期入試の時期を遅らせたり、回数を変更したことも要因のひとつかと思われ、2020年度生募集に当たっては、今後とも公正な募集のもと、原点回帰でオープンキャンパス・入試回数を前年度並みにして取り組んでいきます。

2019年度は、2019年1月に工事も完了し、栄養学科も新たな講義室・図書室で学修をおこなうことが可能となり、教育目標達成に向けて取り組みを徹底していきます。

なお製菓学科につきましては、最後の学生となる2019年度入学生に対し、きめ細かく指導を行い、全員就職内定、全員3月卒業で有終の美を飾ります。